

事務連絡  
令和7年9月29日

都道府県下水道担当課長  
政令指定都市下水道担当部長  
(上記、各地方整備局等経由)  
市町村下水道担当部長・課長  
(上記、各都道府県経由)  
日本下水道事業団事業調整課長  
都市再生機構下水道担当課長

殿

国土交通省水管・国土保全局  
上下水道企画課  
管理企画指導室課長補佐  
下水道事業課  
事業マネジメント推進室課長補佐

### 下水道セーフティネット N. 286 について (令和7年8月分)

#### 1. 維持管理作業事故

令和7年8月は4件（死亡：1件、負傷：3件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は3件増加しました。

既に全国の下水道管理者の皆様には注意喚起をさせていただきましたが、下記のとおり1件の死亡事故が発生しています。

管路調査前の排水作業の実施中、マンホール（直径60センチ、深さ約12メートル）内で、硫化水素中毒が原因と考えられる災害により、作業員1名が転落し、救助しようとした他の作業員3名も転落した。

現場に到着した救助隊員が作業員4名を救出し、救急搬送されたが全員同日に死亡が確認されました。

#### 2. 工事事故

令和7年8月は11件（死亡：2件、負傷：5件、物損：4件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は4件増加しました。

既に全国の下水道管理者の皆様には注意喚起をさせていただきましたが、下記のとおり2件の死亡事故が発生しています。

1件目は、下水処理場建設工事において、土砂の仮置場の砂埃飛散防止のため散水作業の準備を行なっていた作業員が給水車後部から転倒し、後頭部を強打、その後、救急搬送され病院で治療を受けていたが、死亡するという事故が発生しました。

2件目は、下水道施設整備工事において、泥土運搬車両が泥土処分場から発進基地に戻る途中、立ち寄ったコンビニエンスストアの駐車場から車道に左折出場する際、左側から歩道を走行してきた自転車と接触し、自転車の運転者が死亡するという事故が発生しました。

### 3. 水質事故等

令和7年8月は5件（水質事故：4件、その他案件：1件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は5件減少しました。

その他事故の事例として、ポンプ場にて、耐水化工事に伴う下水道工事の火花が原因とみられる火災が発生する事故が発生しました。

### 4. 発生事故を踏まえた今後の対応について

先述の管路調査作業員4名の死亡事故を受けて発出した「下水道管路等内作業における安全確保の徹底について（その1）、（その2）」（令和7年8月4日付事務連絡）も踏まえ、下水道管路内作業においては、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施することを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のHPにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いします。

HP : [https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd\\_sewerage\\_tk\\_000005.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html)

※ 厚生労働省の下記のHPに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いします。

HP : [https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SAI\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx)

（担当・問い合わせ先）

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）

平野 : hirano-h2ia@mlit.go.jp

周藤 : sutou-h8310@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428（直通） FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）

今井 : imai-r86s3@mlit.go.jp

白江 : shirae-s2fp@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431（直通） FAX: 03-5253-1597

令和 7 年度  
下水道に関する事故発生状況について  
(令和 7 年 8 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局  
上下水道企画課  
下水道事業課

## 1. 人身事故(総括)

(令和7年8月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								0 (0)	1 (0)
	2. 負傷事故	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	3 (1)								9 (19)	12 (37)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)								9 (19)	13 (37)
	累計	1 (5)	2 (7)	2 (11)	9 (19)	13 (20)								—	—
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)								2 (0)	4 (8)
	2. 負傷事故	0 (5)	3 (4)	4 (6)	7 (5)	5 (3)								14 (20)	19 (60)
	合計	0 (5)	3 (4)	5 (6)	8 (5)	7 (3)								16 (20)	23 (68)
	累計	0 (5)	3 (9)	8 (15)	16 (20)	23 (23)								—	—
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)								2 (0)	5 (8)
	2. 負傷事故	1 (10)	4 (6)	4 (10)	14 (13)	8 (4)								23 (39)	31 (97)
	合計	1 (10)	4 (6)	5 (10)	15 (13)	11 (4)								25 (39)	36 (105)
	累計	1 (10)	5 (16)	10 (26)	25 (39)	36 (43)								—	—

※下段()書きは前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.維持管理作業事故

(令和7年8月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	1 (0)								2 (6)
	2. 政令市	0 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (1)	0 (0)								2 (4)
	3. 一般市	1 (3)	1 (0)	0 (2)	4 (3)	3 (0)								9 (8)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)								0 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)								13 (20)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)								2 (0)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)								2 (1)
	3. 処理場	1 (4)	1 (2)	0 (4)	1 (6)	3 (1)								6 (17)
	4. ポンプ場	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)								3 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)								0 (1)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)								13 (20)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								1 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								1 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	負傷事故	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	3 (1)								12 (20)
	1. 墜落・転落	0 (2)	1 (2)	0 (1)	2 (2)	1 (0)								4 (7)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	0 (1)								1 (4)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)								0 (1)
	4. 切れ・こすれ	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)								2 (2)
	5. 転倒	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)								1 (4)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)								0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	14. その他	1 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (0)								4 (1)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)								13 (20)
被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	2. 委託先業者	2 (4)	1 (2)	0 (4)	7 (7)	6 (1)								16 (18)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)								4 (0)
	②負傷	2 (4)	1 (2)	0 (4)	7 (7)	2 (1)								12 (18)
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)								2 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)								2 (1)
	合計	2 (4)	1 (2)	0 (4)	9 (8)	6 (1)								18 (19)
	累計	2 (4)	3 (6)	3 (10)	12 (18)	18 (19)								-- --

※( )書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 維持管理作業事故情報データベース

令和7年8月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策			被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
<b>8月</b>											
1	R7.8.2	一般市	マンホール	①墜落・転落	<p>全国特別重点調査に伴う管路点検前の排水作業を実施中、マンホール内で作業員1名が転落し、救助しようとした他の作業員3名も転落した。現場に到着した救助隊員が作業員4名を救出し、救急搬送されたが全員同日中に死亡が確認された。</p>	<p>・検討中</p>	委託先業者	50代	男	死亡	
								50代	男	死亡	
								50代	男	死亡	
								50代	男	死亡	
2	R7.8.6	一般市	処理場	⑤転倒	最終沈殿池の清掃中、バランスを崩し作業用踏み台から転倒。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該踏み台を使用禁止とする</li> <li>・他に危険な踏み台を使用していないかを確認する</li> </ul>	委託先業者	52	男	左手粉碎骨折	
3	R7.8.19	都道府県	処理場	①墜落・転落	焼却炉の冷却器エキスパンションポート取外し作業中、仮設足場よりバランスを崩し落下。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業床高さが2m未満の仮設足場や作業台の使用方法と安全注意事項について再教育する</li> <li>・移動させて使用する仮設足場を撤去し、連続した作業床を新たに設けるなお、連続した作業床の端部には手すりを設ける</li> </ul>	委託先業者	50	男	左鎖骨、肋骨骨折	
4	R7.8.21	一般市	処理場	②はされ・巻き込まれ	汚泥脱水機の機械点検中、稼働中の機械に手を巻き込まれ、右中指骨折。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回転機器に関する作業を行う場合は、必ず機器を停止させ、ブレーカーを切る。</li> <li>・作業は複数名で行い、役割分担を明確にする。</li> </ul>	委託先業者	53	男	右中指末節骨開放骨折	

  :死亡事故  
   :負傷事故

### 3.工事事故 (令和7年8月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (1)	1 (1)	1 (0)	3 (4)	4 (1)								11 (7)
	2. 政令市	0 (1)	3 (0)	2 (2)	2 (3)	3 (2)								10 (8)
	3. 一般市	0 (2)	1 (3)	2 (6)	6 (2)	3 (4)								12 (17)
	4. 町村	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (1)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								2 (1)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)								36 (34)
工事分類	1. 管きょ開削	2 (3)	4 (2)	2 (2)	6 (5)	4 (4)								18 (16)
	2. 管きょ推進	0 (0)	0 (1)	1 (2)	2 (0)	1 (0)								4 (3)
	3. 管きょシールド	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)								1 (1)
	4. 管きょその他	0 (1)	1 (0)	1 (3)	0 (1)	0 (1)								2 (6)
	5. 処ボ土木建築	0 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (2)	4 (0)								8 (4)
	6. 処ボ機械電気	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)								2 (3)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)								1 (1)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)								36 (34)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)								4 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)								2 (0)
	2. はまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								1 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)								1 (0)
被災者数	負傷事故	0 (5)	3 (4)	4 (6)	7 (5)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (23)
	1. 墜落・転落	0 (3)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	3 (1)								5 (8)
	2. はまれ・巻き込まれ	0 (2)	1 (2)	0 (3)	2 (0)	0 (2)								3 (9)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (1)	1 (0)	4 (1)	1 (0)								6 (2)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)								1 (2)
	6. 激突	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)								0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (0)								2 (1)
物損事故	物損事故	2 (1)	3 (0)	1 (2)	3 (4)	4 (4)								13 (11)
	12-2. 公衆災害(物損)	2 (1)	3 (0)	1 (2)	3 (4)	4 (4)								13 (11)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)								36 (34)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)								4 (0)
	2. 負傷	0 (5)	3 (4)	6 (6)	8 (5)	5 (3)								22 (23)
	合計	0 (5)	3 (4)	7 (6)	9 (5)	7 (3)								26 (23)
	累計	0 (5)	3 (9)	10 (15)	19 (20)	26 (23)								-- --

※( )書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 工事事故情報データベース

令和7年8月末時点

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報				被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要		発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
<b>8月</b>											
1	R7.8.1	2.政令市	1.管きょ開削	掘削工	ガスの巡回監視員立会いの下、供給管の想定深さ70cmまで人力掘削を行っていた。管が出てこなかったので、管理図面及び引込明示杭の位置には管がないと巡回監視員及び現場代理人は判断し、機械掘削を実施した。結果、バケットのサイドカッターが想定外の位置にあった管と接触し管を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
2	R7.8.1	5.その他	5.処ボ土木建築	散水作業	土工事において、埋戻土の粉塵対策用の水を散水車に取水していた。散水車へ給水するため、県央浄化センター内にて散水車上部の蓋を開けて給水し、散水車から降りるときに足を踏み外し、転倒したと思われる。	現場内	1.墜落・転落	72	男	死亡	
3	R7.8.4	1.都道府県	3.管きょシールド	運搬工	泥土運搬車両が泥土処分場から発進基地に戻る途中、立ち寄ったコンビニエンスストアの駐車場から車道に左折出場する際、左側から歩道を走行してきた自転車と接触した。 その後、自転車の運転手は現場で死亡が確認された。	現場付近道路	12-1.公衆災害（人身）	80	女	死亡	
4	R7.8.5	2.政令市	1.管きょ開削	掘削工	水道管移設のための試掘を行っている作業中に下麻生2丁目42-22(影響家屋1戸)へのガス引込管(30mm)をバックホウにより破損させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
5	R7.8.5	1.都道府県	5.処ボ土木建築	機器組立作業	機器組立作業において、立馬中段(GL+0.5m程度)にて直立姿勢の上、右手でテコバール(工具)を使用して穴合わせを行っていた。 穴を合わせる為にテコバールに力を入れた際、テコバールが差し込んでいた穴から抜け、テコバールを保持していた右手側より態勢を崩し、右足で地面に着地した。 着地した体勢が悪く右股関節部を痛め、病院を受診した結果、右大腿骨頸部骨折の診察を受けた。	現場内	1.墜落・転落	54	男	右大腿骨頸部骨折	
6	R7.8.7	1.都道府県	5.処ボ土木建築	壁の補修作業	壁補修作業中、フルハーネスのを付け替え作業をしたところ足を滑らせて転落 (高さ約2.5mから)	現場内	1.墜落・転落	28	男	左腰の打撲	
7	R7.8.8	2.政令市	1.管きょ開削	掘削工	取付管の緊急補修工事を行っていたところ、地山が堅かったため電動ピックを併用して人力掘削していたところ、ガス供給管(Φ30PE管)を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
8	R7.8.20	3.一般市	2.管きょ推進	コンクリート取壊し作業	停車した作業車の右側にて仰向けで倒れているところを見られた。病院へ搬送され、熱中症と診断された。	現場内	14.その他	53	男	熱中症	
9	R7.8.22	3.一般市	5.処ボ土木建築	コンクリート取壊し作業	田の口ポンプ場の施設内(地下3階)において、コンクリートを取り壊し、コンクリート殻を小型運搬車で搬出する作業を行うため、小型運搬車(積荷は空の状態)を地下2階から地下3階に電動チェーンブロックで吊り降ろしていたところ、小型運搬車が地下3階に落下。落下した小型運搬車が、開口部付近で取壊し作業をしていた作業員に接触した。	現場内	3.飛来・落下	81	男	右踵骨開放骨折 右足ショバール関節脱臼骨折 右足開放創 骨盤部打撲 腰椎圧迫骨折	
10	R7.8.25	3.一般市	1.管きょ開削	掘削工	ガス管の位置は図面で明示しており、ガス会社立ち合いのもと、施工を行っていた。 GL-1.0m付近に固い土層があったため、ガス立合者へ引き続き機械掘削を行ってよいか確認したところ、土被りがGL-1.8mの位置にガス管があるため、了承を得た。 引き続き機械掘削にて施工をしていたが、実際は土被りがGL-1.2mにガス管があり、ガス管に損傷を与えた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
11	R7.8.27	1.都道府県	6.処ボ機械電気	搬入工	処理センター機器搬入場所で搬入検査中、搬入車輛から脚立を使用して降りる際、雨天のため、脚立踏ざんがねれていたため踏み外して滑落し、右足から着地したが路面も濡れていて転倒した。	現場内	1.墜落・転落	48	男	右膝靭帯断裂	



:死亡事故



:負傷事故



:物損事故

## 4.水質事故等 (令和7年8月末時点)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)								18 (18)
	累計	2 (2)	3 (5)	4 (7)	13 (8)	18 (18)								-

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)								2 (1)
	2. 政令市	0 (2)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)								3 (5)
	3. 一般市	1 (0)	1 (1)	0 (1)	7 (0)	4 (7)								13 (9)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)								0 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
合計		2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)								18 (18)
発生施設	1. 管渠	0 (2)	0 (2)	1 (0)	2 (0)	3 (3)								6 (7)
	2. マンホール	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (2)								4 (3)
	3. 処理場	1 (0)	1 (0)	0 (2)	3 (0)	0 (3)								5 (5)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)								3 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)								0 (3)
合計		2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)								18 (18)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	0 (2)	0 (1)	6 (1)	4 (4)								11 (9)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)								3 (0)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (6)								4 (9)
	合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)								18 (18)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)								3 (0)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (2)								2 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)								2 (1)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (1)	4 (5)								10 (9)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
水質事故 合計		2 (2)	1 (2)	1 (1)	9 (1)	4 (7)								17 (13)
その他案件		0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (3)								1 (5)
水質事故等 合計		2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)								18 (18)
状況分類	① 耐用年数経過	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (0)
	② 耐用年数以内	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (2)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	合計	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (2)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 水質事故等情報データベース

令和7年8月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応	
<b>8月</b>							
1	R7.8.12	3.一般市	管渠	水質事故 ⑤下水道施設からの下水等の流出	圧送管の破損が原因と見られる下水道の漏水。	・再発防止策を検討中	
2	R7.8.14	3.一般市	管渠	水質事故 ⑤下水道施設からの下水等の流出	下水道管の破損により道路から漏水。	・再発防止策を検討中	
3	R7.8.22	2.政令市	ポンプ場	その他案件 ⑥その他事故（①～⑤以外の事故）	ポンプ場にて、耐水化工事に伴う下水道工事の火花が原因とみられる火災が発生。	・原因を確認の上、必要な措置を講じる	
4	R7.8.30	3.一般市	マンホール	水質事故 ⑤下水道施設からの下水等の流出	工場排水を受ける幹線が閉塞し、汚水がマンホールから溢水。	・公共下水道開始以降初めて閉塞した箇所であることから、定期的に確認するリストに追加し、半年に一度は現地確認工を実施する	
5	R7.8.30	3.一般市	管渠	水質事故 ⑤下水道施設からの下水等の流出	流域管渠の上部が破損し、土砂が管渠内に流入したことで閉塞し、汚水が地下浸透し、擁壁から漏れ出した。	・マンホール及び管の交換が必要なため、至急、工法の検討を行い工事発注に向けて準備を進める ・道路陥没の可能性があるため当面、片側交互通行とする	